



第25回子ども長靴アイスホッケー大会 熱い戦いが繰り広げられた大会には小学生39チーム約360人が参加し、氷上の動きに悪戦苦闘しながらも元気にボールを追いかける姿に、たくさんの声援が送られていました。(1月24日:育成協リンク)



市立根室病院辞令交付式 1月から荒川政憲医師(前院長)が名誉院長、東浦勝浩医師(前副院長)が新院長に就任し、市民に愛される病院を築き上げていきたいと意を新たに辞令交付式に臨みました。(1月6日:市立根室病院)



咲かせよう千島桜 ニ・ホ・ロ開館10周年を記念した千島桜を2月中に満開にしようという企画が行われ、サクラの枝は北方領土返還の思いをつづった花びらで、次々と大きな花を咲かせています。皆さんの熱いメッセージで満開にしましょう。(1月24日:ニ・ホ・ロ)



子ども書き初め教室 小中学生を対象の書き初め教室が開かれ、北方書道研究会の会員の指導を受けながら力強い字を書き上げた子どもたちは、作品に満足しながら書道の楽しさを学びました。(1月8日:総合文化会館)

春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター

NCC通信

〒086-0074
根室市東梅103番地
☎25-3047

ものさし鳥

冬の透き通るような青空を、たくさんのワシがぐるりくるりと旋回しています。そんな巨大なオオワシやオジロワシの中に混じって、一回り小さな体のトビが空高く飛んでいきます。

トビは、いつも輪を描いて上空を飛んでいることから「とおくひいる(遠く高く飛ぶという意味)」という言葉が略され、転化して「飛び(トビ)」と呼ばれるようになったといわれています。主に死んだ魚や鳥などを食べるため、あまりタカの仲間だと思ってもらえませんが、鋭いかぎ型のくちばしや爪を持った立派な猛禽類です。つばさを上げると約160cmもある大型

のタカで、ハシブトガラスと比べると意外と大きい鳥だといふことがよくわかります。ほかのタカを



見分ける時に大きさの指標(ものさし鳥)になるので、見慣れておくに役に立ちます。

トビは、長いつばさを広げて上昇気流に乗り、あまり羽ばたかずに、旋回しながらえさを探しています。そのため、おっとりしているように思われますが、えさをめぐる空中戦の動きはとても俊敏です。氷下待ち網漁が終わった後などの魚の奪い合いは、オオワシたちにも決して負けていません。時には、水面上がってきた生きた魚を、ダイブしてとることもあります。

冬の間は群れで過ごすことが多いトビは、今の時期、何十羽もの群れで上空に輪を描いたり、お気に入りの木に鈴なりに止まったりしています。

(レンジャー 手嶋 洋子)